

研究活動トピックス

2024年7月26日 京都カロテノイド研究者の集いが生産開発科学研究所で開催されました

研究会には大学、研究機関、企業から30名の方が参加されました。講演は「カロテノイド その研究歴史と自然界での機能」眞岡孝至、「マリンカロテノイドから紐解くカロテノイドの吸収と代謝」京大農 眞鍋 祐樹助教、「 β -クリプトキサンチンの機能性研究成果と利用技術の開発」同志社女子大 杉浦実教授、「運動時におけるカロテノイドの有用性」京都府大 青井渉准教授の4題と大久保 拓真京大学院生の発表が行われ活発な討論が行なわれました。懇親会では参加同士の盛んな交流が行われました。当研究会は来年も開催しますのでカロテノイドに興味のある方は是非ご参加ください。



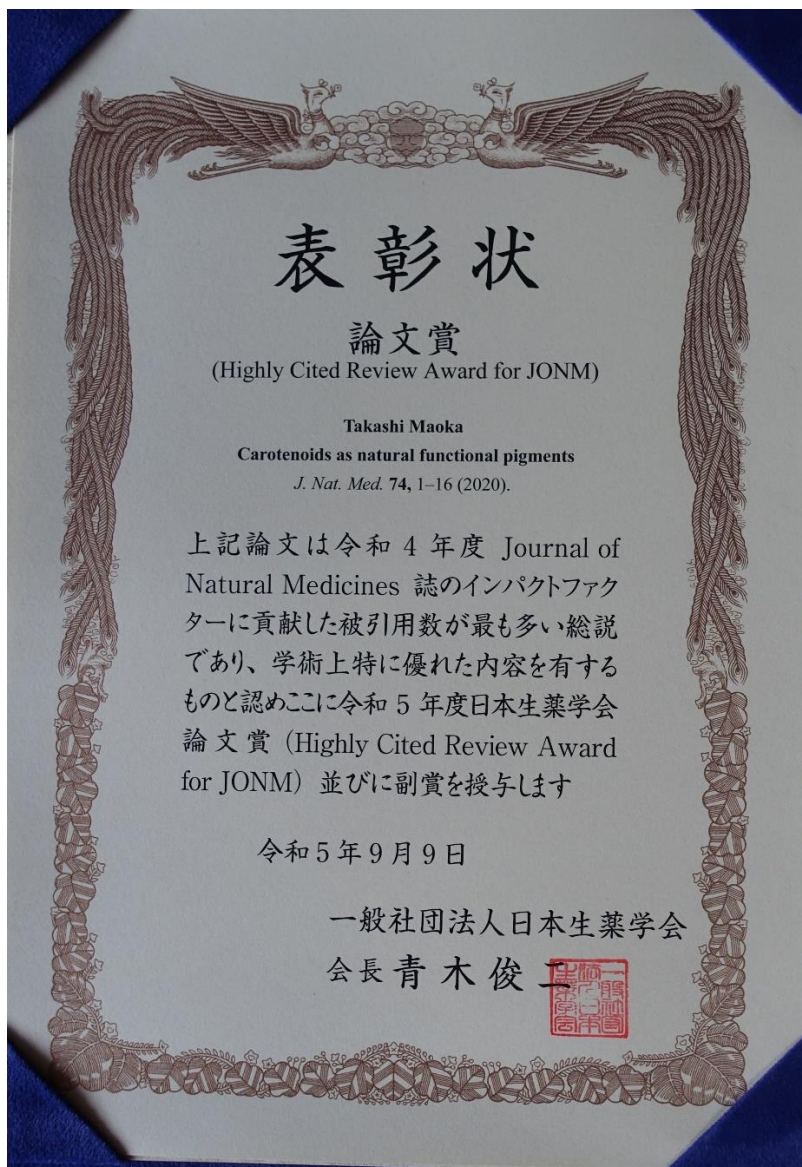
2023年11月24～26日 日本女子大学でカロテノイド研究会、アスタキサンチン研究会合同研究会が開催され私がアスタキサンチン研究会の大会委員長を務めました



アスタキサンチン研究会の活動を振り返る



2023年9月9日 日本生薬学会(東北医科薬科大学)で下記の総説論文が*J. Natural Medicines* のインパクトファクターの向上に貢献した事により論文賞を受賞しました
Takashi Maoka, Carotenoids as natural functional pigments, *J. Natural Medicines*. **74**, 1-16 (2020). DOI 10.1007/s11418-019-01364-x (2019).



この総説は天然カロテノイド構造、分布、生合成、代謝、機能などについてわかりやすく解説したもので国内外の多くの人に引用していただいたことで *J. Natural Medicines* のインパクトファクターが向上した事が授賞理由です。カロテノイドの研究される方はオープンアクセス論文ですので是非ご一読ください。なお2024年9月16日に生薬学会(近畿大学薬学部)でカロテノイドのシンポジウムが開催されます。この論文に基づいた話をしますので興味ある方はご参加ください。

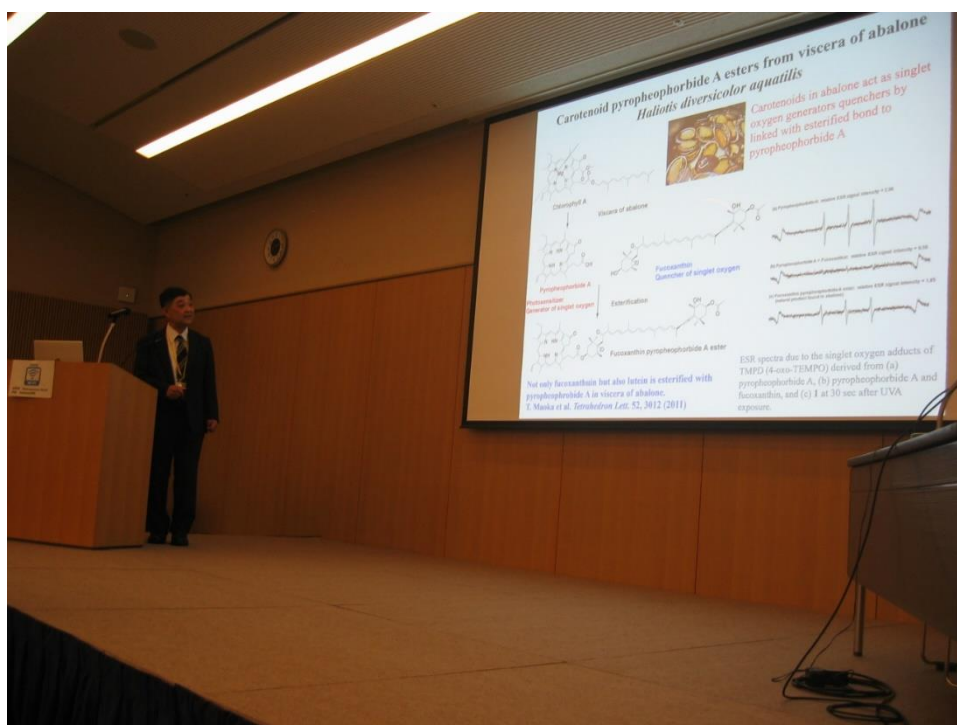
2023年7月 国際カロテノイド会議(富山)で2題(招待講演)発表しました

Astaxanthin: Discovery, history, and distribution in nature 7月10日発表



My Chemical and Biochemical Studies of Natural Carotenoids During 45 Years

7月11日発表



2022 年日本質量分析学会 BMS シンポジウムで講演したカロテノイドの LC/MS 分析の総説論文が日本質量分析学会誌 Mass Spectrometry に掲載されました。カロテノイドの LC/PDA/MS 分析について多くの実例を記載しています。オープンアクセス論文ですのでカロテノイドの LC/PDA/MS 分析に興味のある方は是非ご覧ください。

T. Maoka, Carotenoids: Distribution, Function in Nature, and Analysis Using LC-Photodiode Array Detector (DAD)-MS and MS/MS System, Mass Spectrometry DOI: [10.5702/massspectrometry.A0133](https://doi.org/10.5702/massspectrometry.A0133)

2023 年 5 月 Marine Drugs に Astaxanthin の発見から最新の研究まで網羅した 100 ページにおよぶ総説が掲載されました

富士化学工業、石川県立大学の三沢典彦先生、関西学院大学の橋本秀樹先生との共著です。Astaxanthinの化学、物理から生理活性まで幅広く解説しています。オープンアクセス論文ですのでAstaxanthinに関心のある方は是非一読ください。

Y. Nishida, P. Christina Berg, B. Shakersain, K. Hecht, A. Takikawa, R. Tao, Y. Kakuta, C. Uragami, H. Hashimoto, N. Misawa, T. Maoka, Astaxanthin: Past, Present, and Future, Mar. Drugs 2023, 21, 514. <https://doi.org/10.3390/md21100514>

2022 年 12 月スタンフォード大学の世界のトップ2%の研究者に選ばれました

[Analysis of 2023 Stanford University's Top 2% Scientists \(Career Impact\) \(1960- 2022\) List \(insights2techinfo.com\)](https://insights2techinfo.com)

[September 2022 data-update for "Updated science-wide author databases of standardized citation indicators" - Elsevier BV \(digitalcommonsdata.com\)](https://digitalcommonsdata.com)

日本のカロテノイド研究者では石川県立大学の三沢典彦先生、関西学院大学の橋本秀樹先生も選ばれています。